

《 保存版 》

令和7年度

根室市保健のしおり

★ こども編 ★

こども医療費受給資格者証

●医療費給付対象

・0歳～高校生まで（主たる生計維持者の所得制限はありません。）

●自己負担額

・保険適用となる、入院・外来・歯科・調剤・柔道整復・指定訪問看護とともに **自己負担なし**

●助成対象外のもの

・健康保険が適用されない医療費

・交通事故などの第3者行為による場合

・高額療養費該当部分

・日本スポーツ振興センターの救済制度から給付される場合

●受給資格者証の交付に必要なもの

・お子さまの保険証・資格確認証・マイナンバーカードのいずれか、

印鑑（※所得証明書類もしくは個人番号の提出が必要な場合があります）

【問合先：こども子育て課こども子育て担当】電話：23-6111（内線2144）

フッ素塗布

★令和6年度より、対象者の拡大と無償化を実施しています★

●対象者 1歳6ヶ月児～未就学児

●実施回数 1歳6ヶ月児～未就学児までの間において、6ヶ月間隔で塗布（最大11回）

●自己負担額 なし

★詳細については、広報ねむろ等でお知らせします。

【問合先：こども支援課こども育成担当】電話：23-6111（内線2122、2123）

新生児聴覚検査費用助成

●対象者 新生児の保護者

●内容 聴覚障害の早期発見・早期療育に繋がる新生児聴覚検査に係る費用を助成

●実施方法 新生児聴覚検査受診票を出産される医療機関へ提出し、検査を受けてください。

●助成額 聴覚検査に要した費用を助成します。（※助成額に上限あり。初回検査及び確認検査の2回まで）

【問合先：こども支援課こども育成担当】電話：23-6111（内線2122、2123）

令和7年度 乳幼児健康診査（相談）の日程

	令和7年											令和8年	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
健診・相談・教室の内容													
【会場】 [受付開始時間]	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
4ヶ月児健康診査	9日	14日	4日	2日	6日	3日	1日	5日	3日	14日	4日	4日	
【市役所2F防災研修室203】 [12:00～]	(水)	(水)	(水)	(水)	(水)	(水)	(水)	(水)	(水)	(水)	(水)	(水)	
1歳6ヶ月児健康診査（1歳6ヶ月の翌月）	17日	22日	12日	10日	14日	11日	9日	13日	11日	22日	19日	12日	
【市役所2F防災研修室203】 [12:00～]	(木)	(木)	(木)	(木)	(木)	(木)	(木)	(木)	(木)	(木)	(木)	(木)	
3歳児健康診査（誕生月の翌月）	10日	15日	5日	3日	7日	4日	2日	6日	4日	15日	5日	5日	
【市役所2F防災研修室203】 [12:00～]	(木)	(木)	(木)	(木)	(木)	(木)	(木)	(木)	(木)	(木)	(木)	(木)	
9ヶ月・10ヶ月児相談	18日	9日	26日	11日	15日	12日	10日	14日	12日	29日	20日	6日	
【図書館 2F 集会室】 [13:00～]	(金)	(金)	(木)	(金)	(金)	(金)	(金)	(金)	(金)	(木)	(金)	(金)	
離乳食教室													
【対象者には、お知らせします】 [13:00～]													
5歳児相談													
【総合文化会館】 [13:00～]													
対象者には、案内を送付いたします。相談をご希望される方は下記までご連絡ください。 こども支援課こども支援担当 23-6111													

定期予防接種等の実施医療機関・接種期間 ※空欄は実施していません

医療機関名	受付時間／接種年齢等	口 タ	B型 肝炎	小児 肺炎 球菌	5混 4混	ヒフ	麻しん 風しん	水痘	B C G	日本脳炎	二種 混合	子宮頸がん
市立根室病院 (小児科)	【未就学児】火・木 13:30～15:00 【小児以上】火・木 15:00～16:00 ※ただし子宮頸がんワクチンは、 15:30～16:00									要予約	【高校生以下】 予約不要	
(産婦人科)	火・木 15:30～16:00											要予約
(内 科) ☎24-3201	8:30～11:00										【高校卒業相当18歳以上】 予約不要	【小学6年生～高校3年生】 市健康推進課へ予約
岡田医院 ☎24-2651	医療機関へお問い合わせください											【中学1年生以上】 要予約
江村精神科内科病院 ☎22-2811	医療機関へお問い合わせください											【小学6年生以上】 要予約
道東勤医協ねむろ医院 ☎22-2563	医療機関へお問い合わせください										【15歳以上】 要予約	【15歳以上】 要予約

※【 】内は、各医療機関において接種可能な年齢です。
※市立根室病院にて子宮頸がん予防ワクチンを接種ご希望の方は、接種希望日の1週間前までに必ず「市健康推進課」へ予約をお願いいたします。

ワクチン名	種類	対象年齢	回数	標準的な接種間隔・標準的な接種期間
ロタウイルス (ロタリックス)	経口生	生後6週から24週0日	2回	1回目：生後14週6日までに接種 2回目：1回目から27日以上の間隔をおいて接種 ※ロタテックについては、市役所健康推進課健康推進担当までご相談ください。
小児肺炎球菌 (15価・20価)	不活化	開始時生後2ヶ月以上7ヶ月未満 開始時生後7ヶ月以上12ヶ月未満 開始時1歳以上2歳未満 開始時2歳以上5歳未満	4回 3回 2回 1回	1～3回目：27日以上の間隔をおいて接種（生後12ヶ月までに実施） 4回目：3回目終了後60日以上の間隔をおいて（生後12ヶ月から15ヶ月までに接種） 1～2回目：27日以上の間隔をおいて接種（生後12ヶ月までに実施） 3回目：2回目終了後60日以上の間隔をおいて生後12ヶ月以降に接種
五種混合	不活化	I期初回 II期追加	3回 1回	1～3回目：20日以上56日までの間隔をおいて接種（2ヶ月から7ヶ月の間に接種） 3回目終了後、6ヶ月～1年6ヶ月の間隔をおいて接種
四種混合	不活化	I期初回 II期追加	3回 1回	1～3回目：20日以上56日までの間隔をおいて接種（2ヶ月から12ヶ月の間に接種） 3回目終了後、1年～1年6ヶ月の間隔をおいて接種（6ヶ月以上あれば接種可）
ヒフ	不活化	開始時生後2ヶ月以上7ヶ月未満 開始時生後7ヶ月以上12ヶ月未満 開始時1歳以上5歳未満	4回 3回 1回	1～3回目：27日以上56日までの間隔をおいて接種（生後12ヶ月未満までに接種） 4回目：3回目終了後7ヶ月以上13ヶ月までの間隔をおいて接種 1～2回目：27日以上56日までの間隔をおいて接種（生後12ヶ月未満までに接種） 3回目：2回目終了後7ヶ月以上13ヶ月までの間隔をおいて接種
B型肝炎	不活化	生後2ヶ月以上12ヶ月未満	3回	1～2回目：27日以上の間隔をおいて接種 3回目：1回目から139日以上の間隔をおいて接種
水痘	注射生	1歳以上3歳未満	2回	6ヶ月から12ヶ月の間隔をおいて接種（3ヶ月以上あれば接種可）
麻しん風しん混合 (MRワクチン)	注射生	I期 1歳以上2歳未満 II期 5歳以上7歳未満	1回 1回	1歳になったら早めに接種 就学前の1年間に接種
BCG	注射生	1歳未満	1回	5ヶ月以上8ヶ月未満
二種混合 (DTaP・破傷風)	不活化	11歳以上13歳未満	1回	小学6年生で接種
子宮頸がん	不活化	・小学生6年生～高校1年生相当の女性 ・キャッチアップ対象者 (平成9年4月2日～平成21年4月 1日生まれの女性) ※キャッチアップ対象者は令和7年3月31 日までに1回または2回目を接種し、接種完 了していない方に限る。	2回 もしくは 3回	サーバリックス 2回目：1回目の接種から1ヶ月後に接種 3回目：1回目の接種から6ヶ月後に接種 ガーダシル 2回目：1回目の接種から2ヶ月後に接種 3回目：1回目の接種から6ヶ月後に接種 シルガード 【2回接種】1回目を15歳未満に接種する場合 ●接種間隔 1回目の接種から6ヶ月後に接種 ※1回目と2回目の接種は、通常5ヶ月以上あけます。5ヶ月未満で2回目を接種 した場合は、3回の接種が必要となります。 【3回接種】1回目を15歳以上で接種する場合 ●接種間隔 2回目：1回目の接種から2ヶ月後に接種 3回目：1回目の接種から6ヶ月後に接種
日本脳炎	不活化	定期（平成24年4月2日以降生） ・6ヶ月以上7歳6ヶ月未満に3回接種 ・9歳以上13歳未満に1回接種 特例（平成17年4月2日～平成19年4月1日生） ・20歳未満に4回接種		《標準的な接種期間》 3歳～（I期初回）1回目、2回目 4歳～（I期追加）3回目 9歳～（II期）4回目 《接種間隔》 6日～28日の間隔をおいて2回接種 2回接種後、6ヶ月以上（おおむね1年）の間隔をおいて1回接種 3回接種後、6ヶ月以上（おおむね5年）の間隔をおいて1回接種

【異なる種類のワクチンを接種する際の接種間隔のルール】
●「注射生ワクチン」接種後27日以上の間隔をおかなければ、「注射生ワクチン」の接種を受けることができません。
●それ以外のワクチンの組み合わせでは、前のワクチン接種からの間隔を関わらず、次のワクチンの接種を受けることができます。
※2種類以上のワクチンについて医師が特に必要と認めた場合には、同時に（接種部位は別々に）接種を行うことができます。
※接種から数日間は、発熱や接種部位の腫脹（はれ）などが出ることがあります。ルール上接種が可能な期間であっても、必ず、発熱や、接種部位の腫脹（はれ）がないこと、体調が良いことを確認し、かかりつけ医に相談の上、接種を受けてください。